

あしらの詩あしたの詩



詩人の詩



一般社団法人日本作詩家協会年刊詩謡集

2011年版

巻頭言

会長 湯川 れい子

今年、平成二十三年、西暦二〇一一年は、私たち日本人にとって、忘れることの出来ない年となりました。

これから五年後、十年後。被災地には新しく家が建ち、人々は笑顔を取り戻しているでしょうか。大船渡や気仙沼などは、また活きの良い魚の水揚げで賑っているでしょうか。原発事故は忘れ去られ、内部被曝を心配されている子供たちは、立派に元気な大人となって、楽しく恋の歌を唄っているでしょうか。

何があっても、そうあって欲しいと祈るばかりです。

あの東日本大震災から八ヶ月がたった今は、残念ながらまだまだ威勢のいい鈍音は聞こえて来ませんけれど、歌声は確実に戻ってきています。そして逆に、こんな時代にだからこそ！と、被災地に歌声を届ける運動も盛んに行われています。

わが日本作詩家協会は、会員の皆さまから寄せられた被災地支援の善意のお金で、AMとFMが聞けるラジオを三百台購入。被災地の方々にお届けしました。

さあ、今度はこの詩謡集から、被災地で喜んで聞いて頂ける歌が産まれますように……。

巻頭言	会長 湯川 れい子	一
月下美人	藍 慶子	一六
東京ベイ	A U N	一七
愛のセレナーデ	青木 圭介	一八
迎え送り火	青木 勇一	一九
空きかんたちのレクイエム	明石 真帆	二〇
くまちゃん	赤坂 佳津子	二一
愛の青春譜	茜 まさお	二二
大川四季ごよみ	秋 篠さと	二三
若い季節の頃	秋 原美眞	二四
センチメンタル ヨコハマ	麻 こよみ	二五
俺の海峡	麻 木夢子	二六
リュウジ二月十四日	浅野 淑恵	二七
雨降りに	飛鳥 美勇樹	二八
午前一時の男と女	東 正明	二九
ふるさとへ帰りたい	アベ・イチロー	三〇
指の詩	阿部 則夫	三一
未練雨	天達 美代子	三二
『ゴメンネ』	彩	三三
寿出舟	荒川 利夫	三四
笛吹き紋蔵	荒木 都与雪	三五
はまなす情話	安藤 美津子	三六
一本勝負	井口 けいじ	三七
瀬戸内旅情	生駒 かつゆき	三八

俺にまかせろ	勇	福子	三九
加越能えれじ	イザワ	マサミ	四〇
衣替え(ころもがえ)	石原	信一	四一
別の心でプカリプカリ	石原	弘見	四二
かたり酒	泉	美子	四三
幸せの花の舟をさがそう	市川	武志	四四
夜の川	一森	さとし	四五
朝はくるくる 朝が来る	伊藤	あい	四六
むねびこ	いとう	彩	四七
月待ちの滝	伊藤	勝雄	四八
ああ 浅間焼け	伊藤	彰二	四九
にげみず	伊東	ひろし	五〇
愛しい余韻	伊能	絵巻	五一
愛海ちゃん	井上	裕允	五二
団塊ロマン	井上	ゆうき	五三
さくらの花が咲くように	伊武	トーマ	五四
朝露の宿	入来	英一	五五
光善寺…血脈桜	岩白	かつこ	五六
夫婦人生夢街道	岩間	佳子	五七
人生一途	植村	正	五八
人の言葉に	鶴水	いさお	五九
愛の香り	笛吹	とみ子	六〇
望郷景色	梅垣	政之	六一
酔心	榮次	郎	六二
男の念い酒	えんどう	要	六三
罪の華	及川	莉代	六四
写真機	大賀	たかし	六五

しろつめ草	大原 愛	六六
好きでいたい	大前裕子	六七
恋はかけ引き	大宮一郎	六八
人生いろ色(カラーの心)	丘 まり子	六九
おもいで北千住	岡 みゆき	七〇
北国一人旅	小川 豊	七一
秋が来る	奥 雪義	七二
翌檜坂	小口 幸重	七三
涙色の雪	小山内 圭	七四
北ひとり	おさべ あさ	七五
涙の花	織田 まり	七六
「情熱の嵐」ジューテーム	織田 右京	七七
奥方『異本・鍵の権三重帷子』 <small>おくがた やり こんかみえなび</small> 近松門左衛門より	甲斐 新	七八
パープルタンゴ	開 まこ	七九
涼・貴船川	加 乙 梁	八〇
いつから ふたり	KASUMI	八一
哀しみの渚	片桐 和子	八二
心の火つけ人	勝田 守	八三
孤 舟	加藤 けい子	八四
あすの夢浜頓別	かとう 通流	八五
北のエレジー	金井 ゆきお	八六
男 花	金谷 怜沙	八七
紫の太陽	神里 美和子	八八
鬼 瓦	川 英雄	八九
青いあさがお	かわいだ けんいち	九〇
ジブラルタルの最後の夜	川 島 条	九一
別れ酒	川村 一希	九二

シルクロード幻想	神崎陽一	九三
かたかごの花	芳三知余	九四
晩秋海峡	岸田のぶや	九五
かずら橋	北村けいこ	九六
どこ行くの	北村直之	九七
テレビの前から旅に出る	北吉伸伍	九八
回文ふるさと歌の駅伝	貴船たぐし	九九
下田恋情話	木村賢司	一〇〇
お遍路の旅路	京光恵	一〇一
十八鳴浜	霧野ゆう	一〇二
銀鱗酒場	工藤通昭	一〇三
一葉十三夜	久仁京介	一〇四
風の盆有情	くに多樹夫	一〇五
凍京	國枝星志	一〇六
人生カタカタ	カタツムリ	一〇七
男の夢	倉卓也	一〇八
親子漁師船	倉藤有道	一〇九
母恋い新盆さま	栗原保夫	一一〇
哀愁の角館	黒皮羽生	一一一
マグロ船	黒川良人	一一二
男は育つ	黒崎慶子	一一三
八丈船祝い	小泉金三	一一四
ONDO・八木節	高坂のぼる	一一五
99歳花	小串波夫	一一六
ディナーショー	小島香澄	一一七
ああ汽笛に泣かされて	小嶋高志	一一八
ネモフィラの風	古田土恵子	一一九

津和野路の君へ	小宮 えり	一一〇
天	小宮 正人	一一一
親父(おやじ)	小雪 めぐみ	一一二
しばらく。	近藤 英子	一一三
雪が降る夜の	紺野 あずさ	一二四
かくれ湯けむり	斉藤 清人	一二五
冬の船	さいとう 大三	一二六
面影橋 II	齋藤 力	一二七
蕺草の花	斉藤 葉月	一二八
残 月	斉藤 向恵	一二九
警女哀歌	五月女 正人	一三〇
命の絆	坂口 君代	一三一
パパって甘えていいですか?	坂本 寿美子	一三二
とびの涙	佐倉 陽子	一三三
恋 蛩	さくら 龍	一三四
都心を少し 一寸だけ	櫻井 馨	一三五
日本昔話より つる女房	佐々木 ひさこ	一三六
路地の雨	笹森 とおる	一三七
無名の外野手	佐東 たどる	一三八
人生マーチ	佐野 源左衛門一文	一三九
まつしぐら	澤田 芳生	一四〇
裏 窓	山 吾 充 六	一四一
戻ってきてよ	椎名 英威子	一四二
ムーンライト カフェロワイヤル	汐 咲 まどか	一四三
逢いたくて	紫 香 賢 治	一四四
薄紅の恋	しば ともなり	一四五
鷺羽山慕情	島 勝 興	一四六

哀しみの渚	島	馨子	一四七
越前未練町	島	洗一	一四八
蓮如抄	嶋	八郎	一四九
櫓太鼓	清水	たかし	一五〇
レンゲのブランコ	下野	登美子	一五一
乙女心巻き戻し	白石	明仁	一五二
愛のいろ	白簾	慶子	一五三
だから…お願い	城岡	れい	一五四
寝屋子の島	城山	正志	一五五
川越城下町	菅野	政義	一五六
坂の道	助田	ひさお	一五七
風の子守唄	鈴川	信也	一五八
なみだ橋	鈴木	紀代	一五九
人生ほどほど	鈴木	信子	一六〇
ハートマークはピンクです	鈴木	はるか	一六一
宝くじだよ人生は	鈴木	康正	一六二
なにわトنبオ	須田	厚子	一六三
歌…その愛	捨	大吉	一六四
俺の道	首藤	隆充	一六五
洗い屋	砂川	風子	一六六
ひまわりの花	春原	茂幸	一六七
七丁目のおんな	せを	はやみ	一六八
ピストンパンチ	関	東西	一六九
こころ歌	関	口義明	一七〇
この先急に雨が降る	瀬端	健次郎	一七一
かっぱうぎ	仙	孝緒	一七二
望郷情歌	曾我	幸義	一七三

それが母の愛なのか	田浦泰	一七四
花ほうろ　　～霧氷の宿～	たかたかし	一七五
親	高丘よしと	一七六
女浜唄：わかれ唄	高城のぼる	一七七
夜想曲	高田れい子	一七八
夢遍路	高塚和美	一七九
海鳴りの町	高橋耕作	一八〇
おやじ酒	高橋敏夫	一八一
アカシアが泣いている	高島　じゅん子	一八二
渚の鎮魂歌 <small>なみさきのレクイエム</small>	多岐川大介	一八三
紫陽花の歌	たきのえいじ	一八四
たとえゴーストでも	たくわん	一八五
九頭竜川	たけ美	一八六
よされ津軽の俺 <small>わだ</small> の里	田沢庄笹	一八七
岬のマリア様	田島隆夫	一八八
愛をありがとう	建石　一	一八九
あなたとならば	田中いぶき	一九〇
つれそい坂	田中なるみ	一九一
哀愁しぐれ	たなかゆきを	一九二
麗良の湖	谷口文彦	一九三
みちのくの青空 <small>そら</small>	たにはら伸	一九四
雲	多野　亮	一九五
東京スカイツリーの詩	玉利　要	一九六
遠花火 <small>とほはなび</small>	田村忠雄	一九七
むさし野暮色	千秋かな	一九八
ふたたびの男	千草三紀	一九九
わたし脇役　はまり役	ちくし次郎	二〇〇

あきらめながら	辻	正司	二〇一
微笑 <small>ほほえ</small> み	つじ	伸一	二〇二
能登 <small>ののと</small> の浜唄 <small>はまうた</small>	津田	雅道	二〇三
恋 <small>こひ</small> の華 <small>はな</small>	つのかわ	圭介	二〇四
絆 <small>きずな</small> 船 <small>ふね</small>	つわの	光路	二〇五
万葉 <small>まんやふ</small> 忘れ路 <small>じ</small> の旅 <small>たび</small>	出口	タツ香	二〇六
恋時雨	てしがはら	じろう	二〇七
双 <small>さふ</small> 振り	寺島	幸生	二〇八
酒と前金	天馬	良	二〇九
ツルの希望 <small>ゆめ</small>	戸川	智砂子	二一〇
送り火	飛田	多恵子	二一一
獅子 <small>しし</small> の鬘 <small>たてがみ</small>	富岡	慶信	二一二
詩 <small>うた</small> 魂 <small>こころ</small>	富松	正義	二一三
好きやねん大阪	外山 <small>とやま</small>	尚 <small>ひさ</small> 子 <small>こ</small>	二一四
今はこのまま	鳥羽	貞子	二一五
感 <small>かん</small> 謝 <small>しゃ</small>	長澤	あきら	二一六
星 <small>ほし</small> になりたいブルース	ながた	恵秋	二一七
薩摩 <small>さつま</small> 杜 <small>とう</small> 氏 <small>じ</small>	ながた	じょうじ	二一八
京 <small>きやう</small> の夏	長塚	京子	二一九
おふくろ波止場	中村	勲	二二〇
門 <small>かど</small> 出 <small>で</small>	那須野	巖	二二一
人生舟	仁井谷	俊也	二二二
前 <small>まへ</small> を向 <small>む</small> いて歩 <small>あ</small> こう	西井戸	学	二二三
昭和 <small>しやわ</small> の女	西田	ただすけ	二二四
ころろ花	西平	としこ	二二五
今夜 <small>こんや</small> の君 <small>きみ</small> は帰 <small>かえ</small> りたくな	西村	忠一	二二六
なでしこ夢花 <small>(応援歌)</small>	西山	和風	二二七

天の恋	西脇 求	二三八
私の子守歌(妻に捧げる歌……)	沼田 落葉	二二九
養老桜	NO MOSS	二三〇
鍵 靴音	野沢 冬子	二三一
女の別れ旅	のべひろし	二三二
秋のしらべ	羽澤 文子	二三三
望郷演歌	橋本 和郎	二三四
美術館の庭	橋本 真寿美	二三五
独 路	ハチャン・K	二三六
花の舞妓はん	華木 かおる	二三七
幸福とんぼ	羽場 新一郎	二三八
津軽瞽女	林 伸	二三九
OKINAWA	林 利紀	二四〇
甌島郷土串良移住	原 伸二	二四一
愛・まだ途中	原 文彦	二四二
愛さずにいられない	美山 明葉	二四三
命 ありがとう	平井 歩果	二四四
恋の花々	平井 健一	二四五
清姫・狂恋	平山 貴容子	二四六
La la la love in you	弘 せりえ	二四七
おんな 春団治	廣 澤孝彦	二四八
下根性いっぽん	風 雅也	二四九
恋は陽炎	福山 しゅん	二五〇
円通寺 音頭	藤 浦 讓	二五一
爺々のなみだ	藤岡 和子	二五二
夜汽車	藤崎 光	二五三
大阪の女やもん	藤本 純幸	二五四

恋のライセンス	藤本尚子	二五五
手紙	藤安五月男	二五六
芸人ぐらし	平誠三朗	二五七
女の舞台	星合節子	二五八
千島海峡	星川成一	二五九
きつと誰かが	堀内和香	二六〇
幸せさがし	堀江重吉	二六一
恋便り	梵天丸	二六二
良寛さん晩年の恋物語り	本間正成	二六三
まんまる	槇映二	二六四
ちいさな白い花	牧野おさみ	二六五
冬物語	松井眞佐子	二六六
ふりだしの街	松尾江里也	二六七
人生音頭	松尾博之	二六八
ふたりの福寿草	松尾ゆきを	二六九
あなたのふるさと	松野捷夫	二七〇
雪つり橋	松原かおり	二七一
はつ恋	松原高久	二七二
お前を探して札幌へ	松本撰子	二七三
いそしぎ	円恵介	二七四
出会いの中で	真矢とし子	二七五
こころの始発駅	丸山八留男	二七六
ほれほれ浮かれ節	まんだあつこ	二七七
涙の地平線	三浦康照	二七八
親父	美貴裕子	二七九
時雨の酒場	三木政和	二八〇
平成説教節	美貴史明子	二八一

ナミダのメモリー	三	岬	みこ	二八二
諸行無常	三	岬	坊真明	二八三
おんな恋挽歌	三	里	こうじ	二八四
スペイン坂のマリア	水	木	れいじ	二八五
西国観音まいり	水	嶋	彩木	二八六
風が止んだら	水	野	鮎子	二八七
北切符	み	ずみ	隆	二八八
酒は お前と	美	手	けんじ	二八九
絆は永遠に	南		早苗	二九〇
相模の夜よ	み	ね	隆	二九一
伊那路の旅	峰		八朗	二九二
恋悪魔	み	ね	ゆきと	二九三
おんなの歳月	峰		よしを	二九四
ふたつのバトン	峰	崎	林二郎	二九五
三陸エレジー	宮	崎	のぶを	二九六
義兄弟かもめ	み	やの	舞	二九七
生きものたちの愛	宮	原	哲夫	二九八
菫が峠	美	山	香	二九九
神代桜	深	山	大仁	三〇〇
新たな絆を育んで	武	笠	和夫	三〇一
寒 椿	村	上	文恵	三〇二
ゆりかもめ	茂	木	けんじ	三〇三
紅葉宿	本	橋	夏蘭	三〇四
白い鉛筆	森	下	かおり	三〇五
懐旧「仙台湾」	諸	江	一朗	三〇六
伝えたい願いーアキナへメッセージー	矢	坂	秀司	三〇七
焦がれて相模川	山	上	はるお	三〇八

ふたりの人生五十年(金婚祝記念)……………	八卷	功……………	三〇九
愛娘「あき」……………	山	里幸平……………	三一〇
月の港……………	山	田孝雄……………	三一〇
ありがとう友よ……………	山	田那津子……………	三一〇
しぐれ宿……………	山	田博康……………	三一三
故郷よ……………	大	和正雄……………	三一四
大阪の夜……………	山	本ユリエ……………	三一五
僕だけの宝物……………	Y	u k a……………	三一六
月桃の花……………	湯	川れい子……………	三一七
手をつなごう 前を向いて歩ごう……………	ゆ	きちかげ……………	三一八
おんな…湯の里 かじか橋……………	ゆ	ら悦子……………	三一八
あしたは晴れる……………	由	梨恵子……………	三二〇
サンセット ラブ……………	横	森葉子……………	三二一
電話帳……………	吉	川徳子……………	三二二
ふたりの旅路……………	吉	田静江……………	三二三
おんな川……………	連	達人……………	三二四
土の華……………	若	松かつ子……………	三二五
母さんの手のひら……………	綿	木義昭……………	三二六
淡墨桜……………	渡	辺 螢雪……………	三二七
ちよつと ちよつと……………	渡	辺 久士……………	三二八
東京新宿なみだ街……………	わた	なべ 泰彦……………	三二九

題 字

星 野 哲 郎

表紙絵

湯 川 れい子